

<資料>

## 2021年度鳥取大学教員免許状更新講習実施状況

神谷英雄

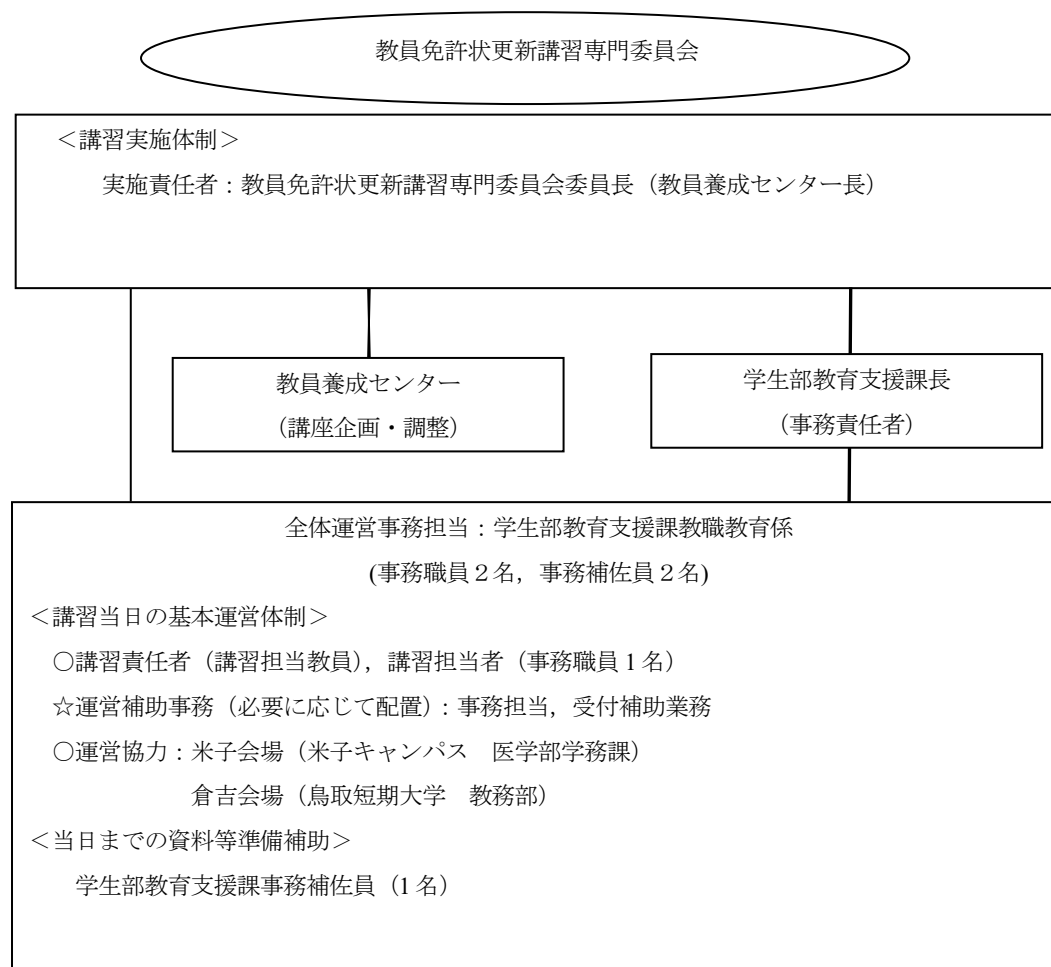
### はじめに

2013年2月の大学教育支援機構の組織改組により、教育センター・教職教育部門及び附属学校連携部門を母体に、教員養成部門と附属学校連携部門の2部門を擁する教員養成センターが設置された。教員養成部門では、旧教育センター・教職教育部門から引き続き、教員免許状更新講習の講座企画およびコーディネイトを担当している。担当は、組織改組前（2009年度までは生涯教育総合センター・教職教育部門）の2008年度から14年目となった。

本稿では、2021年度の更新講習の運営体制と受講状況等を取りまとめておく。

### 1. 運営・実施体制

本学では講習開設にあたり、予備講習実施（2008年度）から全学レベルの教員免許更新講習専門委員会を設置し、運営事務は学生部教育支援課教職教育係が担当している。実施体制としては、本学の教員養成に関する機能強化を目的として設置された教員養成センターにおいて、センター長を中心として講座の企画・調整を行っている。



## 2. 受講状況

今年度は、鳥取市（鳥取キャンパス，鳥取市総合福祉センターさざんか会館，鳥取県立博物館，鳥取砂丘ビジターセンター，鳥取砂丘），米子市（米子キャンパス），倉吉市（鳥取短期大学）の県内3地域の会場で、必修5講習，選択必修12講習，選択35講習を開設した。全体の受講状況は表1のとおりであった。本学の特色として、地方国立大学であるが、隣接の兵庫県北部や島根県，岡山県など県外からの受講者が243人と、受講者数全体の15.7%を占めている点があげられる。

なお、必修・選択必修・選択講習別の受講状況は表2，表3及び表4のとおりである。

表1 更新講習受講者全体状況（単位：人）

必修・選択必修・選択合計 (延人数)	受講定員	受講者数	左の内訳	
			県内	県外
	3,298	1,544	1,301	243

表2 受講状況（必修領域講習）（単位：人）

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	【必修】教育の最新事情①	大谷直史 柿内真紀	90	42	38	4
米子市	【必修】教育の最新事情②	大谷直史 柿内真紀	80	31	23	8
鳥取市	【必修】教育の最新事情③	大谷直史 柿内真紀	150	115	91	24
鳥取市	【必修】教育の最新事情④	大谷直史 柿内真紀	150	68	65	3
倉吉市	【必修】教育の最新事情⑤	大谷直史 柿内真紀	130	76	70	6
		合計	600	332	287	45

表3 受講状況（選択必修領域講習）（単位：人）

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【選択必修】教育相談	小林勝年	40	39	32	7
鳥取市	【選択必修】人種主義とは何か？ ーホワイトネス・スタディズの視点からー	一盛 真	50	20	17	3
米子市	【選択必修】ネットワークと教育	大森幹之	60	16	12	4

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	【選択必修】 学校を巡る状況の変化 (米子)	大谷直史 柿内真紀	90	32	25	7
鳥取市	【選択必修】 オープンデータ概論	東野正幸	25	13	13	0
鳥取市	【選択必修】 学校を巡る状況の変化 (鳥取)	大谷直史 柿内真紀	110	67	55	12
米子市	【選択必修】 児童生徒の心身の発達 とその支援	井上雅彦	50	38	37	1
鳥取市	【選択必修】 国際理解教育の実践と 外国につながる子どもへの支援	御館久里恵	30	14	11	3
米子市	【選択必修】 学校現場における教育 相談の理論と実践	井上菜穂	60	24	22	2
米子市	【選択必修】 教師と子ども・保護者 を結ぶ教育相談	角南なおみ	40	11	8	3
倉吉市	【選択必修】 特別支援教育と生涯発 達支援 ～乳幼児期と青年期に注目 して～	國本真吾	35	32	32	0
鳥取市	【選択必修】 子どもたちの指導・支 援に活かす心理教育 ―予防として の教育相談入門―	石本雄真	52	37	29	8
		合計	642	343	293	50

## 4 受講状況 (選択領域講習) (単位:人)

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【選択】 バイオテクノロジーの最前 線 ※開講取り止め	大城 隆	40			
鳥取市	【選択】 アメリカ文化と社会	中 朋美	30	17	13	4
倉吉市	【選択】 食育と栄養	野津あきこ	35	28	23	5

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【選択】 基礎から分かる昆虫学（鳥取）	中 秀司	95	48	39	9
鳥取市	【選択】 新しい音楽教育の理論と実践	鈴木慎一郎	30	28	18	10
米子市	【選択】 基礎から分かる昆虫学（米子）	中 秀司	80	28	24	4
米子市	【選択】 小児保健と看護	花木啓一	60	44	39	5
鳥取市	【選択】 18歳選挙権と主権者教育－有権者としての意識・行動の観点から－	塩沢健一	30	8	8	0
米子市	【選択】 地質図作成を数学を用いて野外で体験する ※開講取り止め	菅森義晃	5			
鳥取市	【選択】 地域の美術・文化の歴史	筒井宏樹	30	15	11	4
鳥取市	【選択】 持続可能な森と人との関係を求めて	芳賀大地	40	25	17	8
鳥取市	【選択】 今あらためて学ぶ発達障害－困難につながる特性をもつ子の理解－	石本雄真	75	75	64	11
鳥取市	【選択】 言葉とコンピューター	村田真樹	20	12	8	4
鳥取市	【選択】 地域の歴史を発掘する－近世・近代における地域の「偉人」たち－ ※開講取り止め	岸本 覚	40			
鳥取市	【選択】 論理的思考力を可視化するためのレポート作成技術 ※開講取り止め	桐山 聰	40			
米子市	【選択】 教員が知っておきたい生徒の健康：とっさの時の対応と心肺蘇生法の新しい教育法の紹介 ※開講取り止め	本間正人	45			
鳥取市	【選択】 文化財の保存と活用 ※開講取り止め	李 素妍	30			
鳥取市	【選択】 新しい国語科の教材づくり（小学校編） ※開講取り止め	小笠原拓	40			

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【選択】 マーケティング入門 ※開講取り止め	白石秀壽	40			
鳥取市	【選択】 国語科（高校「現代文」）教育の可能性 ※開講取り止め	岡村知子	40			
鳥取市	【選択】 地域経済の現状と今後の展望 ※開講取り止め	多田憲一郎	30			
米子市	【選択】 新しい国語科の授業づくり（中学・高校編） ※開講取り止め	小笠原拓	32			
鳥取市	【選択】 協働学習（ピア・ラーニング） ー理論と実践の方法ー ※開講取り止め	池田玲子	50			
鳥取市	【選択】 私たちの身の周りの放射線 ※開講取り止め	山野好章	30			
鳥取市	【選択】 正義論 ※開講取り止め	丸 祐一	40			
米子市	【選択】 最先端染色体工学研究技術を活用したイノベーション創出 ※開講取り止め	久郷裕之	25			
倉吉市	【選択】 子どもの成長発達と音楽表現	羽根田真弓	40	37	34	3
倉吉市	【選択】 絵本を教育・保育の場に活かす	齊木恭子	45	39	37	2
倉吉市	【選択】 育ちと学びをつなぐ幼児教育と保育者の役割	伊奈公子 上島逸子	40	35	34	1
鳥取市	【選択】 生物多様性を中心に郷土の自然を考える ー博物館を活用してー	永松 大	20	20	16	4
倉吉市	【選択】 世代のこころをつなぐ生涯発達心理学と世代間交流	南 潮	40	38	37	1
鳥取市	【選択】 鳥取砂丘の教育活用をめざして ー地理・地学編ー	小玉芳敬	15	15	11	4
鳥取市	【選択】 山陰海岸ジオパークのご地層をみる ※開講取り止め	菅森義晃	5			
鳥取市	【選択】 地域と学校における健康と体力 ー楽しく走る・歩くー（鳥取）	関 耕二	20	20	15	5

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【選択】 数字のウソー統計数字で騙したり騙されたりしないために	小野達也	30	6	4	2
鳥取市	【選択】 ワクチンがわかるやさしい分子生物学	河野 強	20	8	4	4
鳥取市	【選択】 考古学と関連諸科学による歴史復元	中原 計	40	14	10	4
鳥取市	【選択】 ロシア、カナダ、オーストラリアの教育システムと学級環境	小林勝年	100	19	14	5
鳥取市	【選択】 ドローンで探る鳥取砂丘オアシスの謎	齊藤忠臣	20	19	17	2
鳥取市	【選択】 身近なところから行う子どもの支援ー心理学と脳科学の知見を踏まえた教育相談・生徒指導ー	石本雄真	80	11	9	2
米子市	【選択】 身近なところから行う子どものメンタルヘルスサポート ～心理学と脳科学の知見を踏まえて～（米子）	瀧澤 悠	50	28	26	2
鳥取市	【選択】 民法における親権	丸 祐一	40	12	9	3
鳥取市	【選択】 核融合エネルギー開発と物理学 ※開講取り止め	古川 勝	40			
倉吉市	【選択】 身近なところから行う子どものメンタルヘルスサポート ～心理学と脳科学の知見を踏まえて～（倉吉） ※開講取り止め	瀧澤 悠	45			
鳥取市	【選択】 セキュリティ対策ことはじめ	木本雅也	25	24	21	3
倉吉市	【選択】 造形教育のための教材研究	宮崎百合	30	28	27	1
鳥取市	【選択】 ジェンダーと法	丸 祐一	40	33	27	6
鳥取市	【選択】 地域福祉の推進と学校の役割～超高齢社会における「福祉」との向き合い方を考える～	竹川俊夫	40	35	26	9
米子市	【選択】 日南町のご地層をみる ※開講取り止め	菅森義晃	5			

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	【選択】 地域と学校における健康と体力 ー楽しく走る・歩くー (米子)	関 耕二	20	19	15	4
鳥取市	【選択】 手紙を書くー鑑賞と実際ー	住川英明	24	17	16	1
鳥取市	【選択】 ビタミン学入門ービタミンのはたらきと健康増進ー	渡邊文雄	40	34	28	6
米子市	【選択】 新しい英語教育の理論と実践	足立和美	30	12	8	4
鳥取市	【選択】 憲法史入門 ※開講取り止め	佐藤 匡	20			
鳥取市	【選択】 憲法学入門	佐藤 匡	20	18	12	6
鳥取市	【選択】 法律学入門 ※開講取り止め	佐藤 匡	20			
		合計	2,056	869	721	148

### 3. 今後の講習運営に向けて

今年度の講習運営を振り返り、講習運営に関して効果のあった点、困難だった点を簡単にとりまとめておく。

#### (1) 運営上の効果があった点

- ・必修領域講習は、例年と同じく東部地区（鳥取市）・西部地区（米子市）・中部地区（倉吉市，鳥取短期大学）で開設し、地理的バランスがとれた。また、受講見込み者数の関係から、東部地区・西部地区では2講習開催し、需要に応えることができた。
- ・選択必修領域講習は、東部地区6講習，西部地区5講習，中部地区1講習を開設し、需要に応えることができた。
- ・選択領域講習は、56講習開設（うち21講習を開講取り止め）した。受講者数の少ない講習もあったが、おおむね受講生からの評判も良く、需要に応えることができた。
- ・受講者の駐車スペースの確保について、必修領域講習や受講者の多い選択必修領域講習，選択領域講習は基本的に土日祝日開催とし、また、受講者にはできるだけ公共交通機関を利用して来学願うことを周知したため大きなトラブルはなかった。

#### (2) 運営上、困難だった点

- ・全ての講習を対面式で実施することとしたため、新型コロナウイルスの感染防止の対応として、実施計画や方法の見直し（受講定員・会場の変更，受付での検温，手指・机等の消毒，飛沫防止の設置など）を行うこととなり，準備や調整に手間取った。
- ・新型コロナウイルスの関係で県外在住者（講師・受講者）を講習に参加させることの判断，体調不良で受

講キャンセルした場合の受講料返金の判断に難しい面があった。

- ・新型コロナウイルスの関係で開講を取り止めた講習が多くあり、当該講習を受講予定であった者の他講習への振り替えの調整に手間取った。
- ・台風接近時の受講者への連絡に注意を要した。

神谷英雄（学生部教育支援課教職教育係 係長）